

関東地方は暑い日が続きます。一方、九州では集中豪雨で大きな災害が起きています。お見舞い申し上げます。塾は警報が出たらお休みですが、念のためお問い合わせください。

個別港学舎 舎長 八木貴子

学習状況のお知らせ

夏休みに入ります。40日間を充実させるよう、一人一人に合わせて夏期講習の計画を作ります。

小学生: 苦手科目のまとめ学習を実施できます。定例以外も専門の先生が担当します。

中学生: 7/20から夏期講習です。演習も加えたスケジュールを予定しています。詳細は個別にお知らせします。

高校生: スポットの短期講習が苦手克服のチャンスです。自習、演習もご相談ください。

旬！インゲンのレシピ

インゲンは今が旬。南米が原産で、日本には江戸時代に隠元禅師がもたらしたといわれています。

関西では年に三度収穫できることから“さんどまめ”とも呼ばれています。カリウムをたくさん含んでいるので、体内の水分量を調節し、むくみの解消に効果的です。βカロテンも多く、免疫賦活、肌の健康維持に役立ちます。

「インゲン、ベーコン、卵の炒め物」

手軽にできて、おいしいです。ビールのおつまみ、弁当のおかずにも最適です。インゲンを下茹ですることで、食べやすくなり、ササッと手早く炒めてください。

ベーコン:6枚、インゲン:16本(2パック)、卵:4個、☆塩適量、☆粉チーズ:大2、☆牛乳:大2、バター:大1.5、しょうゆ:大2、サラダ油:適量(4人分)

①インゲンは1分程度下茹でし、冷水にとり斜め切り。ベーコンは1cm幅で切る。②ボウルに卵と☆を入れ溶いておく。③フライパンにサラダ油を引、強火で熱して、卵を入れ素早くかき混ぜ半熟になったら器に取り出す。④フライパンにベーコンを

入れ炒める。焼き目が付いたらインゲンを入れて軽く炒める。⑤バターを入れて、半分融けたらしょうゆを加えて、③を入れ、サッと混ぜ、馴染ませる。

6月23日八木家メニュー

いろはに偉人裏話「そ」

「そ」孫文と言えば「辛亥(しんがい)革命」ですが、それは一朝一夕に起こったことではありません。ことは1894年、孫文がハワイで反清朝の革命秘密結社「興中会」を組織したところから始まります。1911年辛亥革命が起きると、翌年中華民国の臨時大総統となりますが、辞任。翌1912年、革命派の首領であった孫文は南京で中華民国の樹立を宣言しました。台湾では「**国父**」、中華人民共和国では「**革命の父**」と呼ばれていますが、その長い革命活動の中で、数度の亡命も含めて何度も日本を訪れています。



日本人の支持者 ①「梅屋庄吉」

は1895年香港で孫文と出会い、彼の革命にける情熱を知り、「君は兵を挙げたまえ、我は財を挙げて支援す」という盟約を結びました。

日本人の支持者②「宮崎滔天(とうてん)」と対面したのは1897年でした。

孫文の思想に、滔天は陶醉し、これ以後、孫文の活動を支え続けていきました。1900年、孫文は、滔天らと「惠州蜂起」を起こしますが失敗に終わりました。

日本人の妻「大月薫」 1898年日本に亡命していた孫文は、支援者や華僑が多い横浜市山下町の温炳臣(おんへいしん)宅に身を寄せていました。一方、商家の娘、大月薫は、高等女学校に通う美しく聡明な、しかしごく普通的女子でした。1899年、伊勢佐木町の大火で、大月薫一家の自宅は全焼し、父親の知人だった温炳臣の家に間借りすることになりました。



こうして、同じ家の1階に孫文、2階に大月薫一家が住むことになりました。孫文は美しい少女に一目ぼれ、16歳の薫に求婚し、1902年、二人は結婚しました。その後、孫文は国内外を飛び回り、薫が19歳のとき、再び日本を離れた後に、妊娠が判明しますが孫文は横浜に戻ることはなく、薫は一人で出産し、娘に文子と名付けました。父親が世界中どこにいるかも、帰るつもりがあるのかわからないのかわからない事情では、子を里子に出すしかありませんでした。孫文も、何度か手紙を送ったり、再会しようとした。しかし、薫は、今更あっても仕方がないと思ったのでしょうか、再会を断りました。 **日本とはかかわりの深い孫文です。**

